



私たちの取組について、ホームページでくわしくご紹介しています。

<https://www.smfg.co.jp/responsibility/>

「SMFG」で検索 > トップページ > 企業の社会的責任(CSR)

# SDGs コミュニケーション BOOK Vol. 1



8 働きがいも  
経済成長も



1 貧困を  
なくそう

13 気候変動に  
具体的な対策を



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



11 住み続けられる  
まちづくりを



4 質の高い教育を  
みんなに



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



## グループ会社

- 三井住友フィナンシャルグループ
- 三井住友銀行
- SMBC信託銀行
- 三井住友ファイナンス&リース
- SMBC日興証券
- 三井住友カード
- セディナ
- SMBCコンシューマーファイナンス
- 日本総合研究所
- 三井住友アセットマネジメント



# SDGs

Sustainable Development Goals

誰ひとり取り残さない社会を目指すための  
持続可能な開発目標



## SDGsとは

SDGsは「Sustainable Development Goals」の略で、「持続可能な開発目標」を表します。2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた国際目標です。2030年までに「誰ひとり取り残さない」社会を実現することを目指しており、上記の17の目標（ゴール）と、更に細分化された169のターゲットから構成されています。

## SDGs採択までの経緯

SDGsの前身は、2000年の国連サミットにおいて採択されたMDGs（ミレニアム開発目標）です。MDGsでは、2015年までに達成すべき8つの目標を掲げ、その内容は「極度の貧困と飢餓の撲滅」「普遍的な初等教育の達成」のように、主に発展途上国を対象としたものでした。MDGsの成果を踏まえたSDGsでは更に一歩進んで、先進国も含むすべての国々に対して、豊かさを追求しながら、さまざまな社会課題を解決することを呼びかけています。

## 企業とSDGsとの関係

SDGsは、先進国や発展途上国などすべての国を対象にしていますが、その担い手は国だけではありません。民間企業やNGOなど、すべての組織の力を結集する必要があります。企業は事業を通じて、あるいは従業員による各種の活動を通して、さまざまな社会課題の解決に貢献することができるのです。

# SMBCグループのSDGs重点目標

SMBCグループでは、お客さまに質の高いサービスを提供することを通じ、企業価値向上を図っていきます。また、さまざまな社会的課題の解決にもグループ一体で取り組んでいきます。

## SMBCグループの価値創造の源泉



ステークホルダーへの価値提供

**株主**  
株主価値の永続的増大

**お客さま**  
より一層価値あるサービス

**従業員**  
思う存分に能力を發揮できる職場

**環境・社会**  
「良き企業市民」としての社会貢献

ステークホルダーとともに目指すSDGs重点目標

**環境 Environment**

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

13 気候変動に  
具体的な対策を

**次世代 Next Generation**

4 質の高い教育を  
みんなに

8 働きがいも  
経済成長も

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう

**コミュニティ Community**

1 貧困を  
なくそう

11 住み続けられる  
まちづくりを

環境  
Environment

# 持続可能な 分かち合う地球へ

私たちは環境に役立つ金融サービスの提供を通じ、持続可能な地球の実現に貢献できると考えています。活動を通じ、SDGsの7（エネルギーをみんなにそしてクリーンに）と13（気候変動に具体的な対策を）に貢献します。

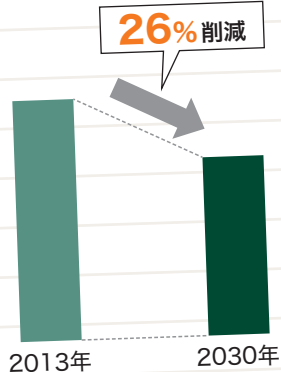


## Social Issues

パリ協定を受け  
日本では  
温室効果ガス排出量を  
2030年までに  
2013年比で

**26%削減**する  
ことを目指しています

※出典：環境省「日本の約束草案」



## Our Approach

温室効果ガスの排出削減に  
つながるプロジェクトを  
金融面からサポート

三井住友  
フィナンシャルグループ  
企画部  
コーポレートトレジャリー室  
青崎 召真



2016年に、産業革命前からの気温上昇を2℃未満に抑えることを目標とした「パリ協定」が発効しました。これを受けて、世界は低炭素・脱炭素社会に向けた動きを加速しています。

こうした中、三井住友フィナンシャルグループは、海外市場において「SMFGグリーンボンド」を発行しています。この債券を通じて調達した資金は、太陽光発電・風力発電などの、環境に配慮したプロジェクトに活用されています。

グリーンボンド発行実績

発行日	発行体	発行額
2015年10月20日	三井住友銀行	5億米ドル
2017年10月11日	三井住友 フィナンシャルグループ	5億ユーロ

### Point 1 欧州の投資家向けのロードショー



SMFGグリーンボンドの発行にあたり、ESGへの関心が高い欧州の投資家を訪問して、商品の説明する説明会（ロードショー）を行いました。

### Point 2 CO<sub>2</sub>排出削減による環境インパクト

調達した資金が充当されているプロジェクトでは、年間約4.2百万トンのCO<sub>2</sub>排出削減効果があります。そのうち、SMFGグリーンボンドによるファイナンスは、年間約4.4万トン相当のCO<sub>2</sub>排出削減につながっています。



※ファイナンス割合で按分し算出。削減効果は2018年3月末時点の推定値。

### Point 3 資本市場を通じた貢献



SMBC日興証券においても、グリーンボンドの組成・販売や、ESG投資の推進などを行っています。金融・資本市場におけるビジネスを通じて、社会的課題の解決に積極的に取り組んでいきます。

## Topics

農業と発電を同時に行う  
「ソーラーシェアリング」向け  
リースの取組

### 三井住友ファイナンス&リース

三井住友ファイナンス&リースは、ソーラーシェアリング向けの太陽光発電設備一式をリースしました。ソーラーシェアリングとは、農地に支柱を立て、上部空間に太陽光パネルを配置し、下部で農業を同時に行う事業です。この事業では、福島県の遊休農地で、太陽光発電とミョウガの栽培を同時に行います。農作物の生産とともに売電収入を得ることができ、安定した収入を得られることから、高齢化や農家離れが進む農村地域の振興策として注目が高まっています。



農地に支柱を立て、配置したソーラーパネル  
(株式会社トーヨーエネルギーファーム)

# 次世代

Next Generation

# 成熟と成長が バランスする 活力ある社会へ

持続可能な社会の発展のために、次世代の育成をサポートします。活動を通じ、SDGsの4(質の高い教育をみんなに)、8(働きがいも経済成長も)、9(産業と技術革新の基盤をつくろう)に貢献します。



4 質の高い教育をみんなに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

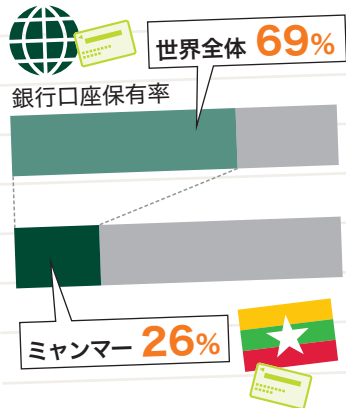
## Social Issues

銀行口座保有率は世界全体の**69%**に対し

アジアの発展途上国のひとつであるミャンマーは**26%**です

(2017年現在)

※出典：世界銀行「金融包摂データベース(グローバル・フィンテックス)」報告書



## Our Approach

ミャンマーの  
金融市場育成のために  
信用保証制度を創造中!



三井住友銀行  
アジア・大洋州統括部  
(ヤンゴン)  
泉 賢一

2011年以降、急速に民主化が進行するミャンマーは、「ラストフロンティア」とも呼ばれています。しかし、直前までの経済制裁により、金融分野を含む社会インフラは、周辺諸国に比べると未だ発展途上です。

三井住友銀行は、ミャンマー政府より要請を受けて、2013年より、中小企業への融資促進に向けた信用保証制度\*構築の支援を開始しました。一国の制度づくりへの挑戦は、海外赴任が初めての私にとって、20余年にわたるSMBCバンカーとしての集大成です。

\*信用保証協会が公的な保証人になることで、中小企業による金融機関からの資金調達をサポートする制度。



Point 1  
まずは法律のドラフト

国営保険公社の「倒産保険」として、約800件の利用があります。将来の信用保証協会設立に向け、政府委員会で法案のドラフトを作成し、国会審議の準備も行っていきます。

Point 2  
ミャンマー語は「仕事の道具」

中小企業融資を広めるため、ミャンマー全土に出張。しかし、地方では英語は通じません。自分がトリリンガルになるとは想像すらしていませんでしたが、今ではミャンマー語もベラベラです(笑)。



Point 3  
子どもたちへの教育改善をサポート



三井住友銀行では、ユニセフが行うミャンマーでの教員研修プログラムを支援しています。このプログラムを通じて、子どもへの教育の質の改善、更には将来ミャンマーの発展を支える人材の育成をサポートしています。

## Topics

研究開発型の  
革新的テクノロジーを有する  
リアルテックベンチャーを支援

### SMBC日興証券

SMBC日興証券が支援する「リアルテックファンド」は、2015年4月に株式会社ユーグレナ、株式会社リバナエとともに設立した、ベンチャーキャピタルファンドです。出資者は各分野のエキスパートで、リアルテック\*ベンチャーの育成の意義を理解する、大手企業を中心に構成されています。地球や人類の課題解決に資する、革新的なテクノロジーの社会実装を目指すベンチャー企業を対象に、投資・育成を行います。

※地球と人類の課題解決に資する、研究開発型の革新的テクノロジー。



# コミュニティ

Community

## 誰もが参画できる 特性ある 健やかな地域へ

安心して生活できる社会や安全な街をつくるために、金融や教育などの分野で本業を活かしたサポートをしています。活動を通じ、SDGsの1（貧困をなくそう）と11（住み続けられるまちづくりを）に貢献します。



### Social Issues

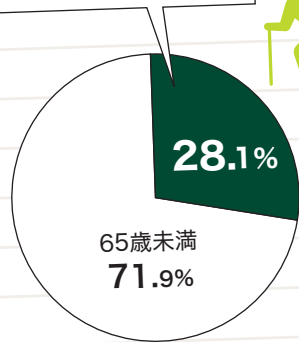
日本の総人口に占める  
65歳以上の  
高齢者の割合は

**28.1%** です

(2018年9月15日現在)

※出典：総務省統計局「統計からみた我が国の高齢者」

65歳以上の高齢者の割合



### Our Approach

高齢化という社会課題に  
官民連携して  
取り組んでいます

三井住友銀行  
成長産業クラスター  
中澤 悠



現代社会においては、医療や介護、教育分野など、社会的課題の解決を必要としている分野は多岐にわたり、それらの課題に対して官民が一体となり、それぞれの得意分野を活かして対処していくことが求められています。

三井住友銀行とSMBC信託銀行は、日本初となる本格的な「ソーシャル・インパクト・ボンド」を通じて、神戸市が導入する「糖尿病性腎症等重症化予防プログラム\*」の資金調達をサポートしました。この取組によって、同市内における患者の重病化予防や同市の医療コスト削減が期待されています。

※糖尿病性腎症等の罹患患者で人工透析に至るリスクが高い人を対象に、受診勧奨および保健指導を実施し重症化を予防するプログラム。

#### Point 1 新たな投資機会を提供

この取組は、集めた資金をもとに公的サービスが実施され、その成果に応じて資金提供者に利益が還元される仕組みです。資金提供者は、「ソーシャル・インパクト・ボンド」を通じて社会課題の解決に貢献できます。

#### Point 2 自治体での医療費の適正化を支援

神戸市では、民間企業による食事や運動のアドバイスなどの保健指導を行い、糖尿病患者の重症化を予防することによって、医療コストが削減できると期待されています。

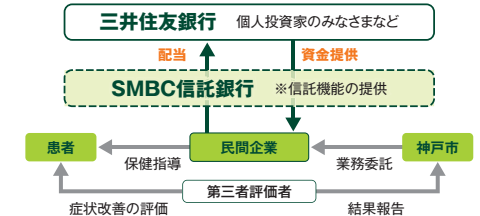
#### Point 3 信託機能の提供



SMBC信託銀行  
プロダクト統括部  
千賀 俊光

SMBC信託銀行は、この仕組みに信託機能を提供することで、投資リスクを本件事業に明確化するとともに、強固な財産管理体制や投資家保護体制の構築を図り、幅広い投資家からの資金調達を可能にしています。

#### 今回のソーシャル・インパクト・ボンドの仕組み



### Topics

訪日外国人観光客向け  
Webメディア  
「JOURNEY of JAPAN」を  
通じた地方創生への貢献

#### 三井住友カード

「JOURNEY of JAPAN」は、三井住友カードが開発した外国人観光客向けのWebメディアです。旅前にはWebサイトで、観光・文化・アクティビティなどの記事や、クレジットカードが使えるオススメのショップ情報などをお届け。旅行中にはアプリで、周辺のクーポン優待店舗へのルート案内など、役立つ情報を利便性高く提供します。これらはすべて、多言語（中国語〈繁体字、簡体字〉、英語、韓国語、タイ語）に対応しています。三井住友カードは、今後も全国の自治体とのタイアップを通じて地方創生に貢献していきます。



「JOURNEY of JAPAN」英語版



# 「お金」の学びを支援する 私たちの活動

SMBCグループは、子どもから大人まで幅広い世代に向けた金融経済教育をグループ一体で行っています。この活動を通して、誰もが「お金」に関する正しい知識を身につけ、安心して暮らせる社会の実現を目指しています。

4 質の高い教育を  
みんなに

8 働きがいも  
経済成長も

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらせ

## 「お金」を学ぶ場をつくる

### 夏休み！こども銀行たんけん隊

三井住友銀行では、小学生が実際の銀行業務を学び、体験する「夏休み！こども銀行たんけん隊」を実施しています。この見学会では、従業員による授業のほか、窓口業務の体験やATM・金庫の見学などを通して、子どもたちが金融や銀行業務の基本について勉強する機会を提供しています。



上)窓口業務体験の様子  
左)授業の様子

### 三井住友銀行

## 「お金」を学ぶツール

### 金融情報メディア・収支体験ツール

三井住友銀行が提供するWebメディア「Money VIVA」では、日常で役立つお金の豆知識などを無料配信しています。また、SMBC日興証券では、「お金の常識をカエル。」をコンセプトにした無料の投資情報サービス「FROGGY (フログギー)」を提供しています。三井住友アセットマネジメントにおいても、ホームページ上に「資産形成シミュレーション」など投資初心者向けの各種コンテンツをご用意するなど、金融に関する情報発信を通じた知識の普及に努めています。

### 三井住友銀行 SMBC日興証券 三井住友アセットマネジメント



三井住友アセットマネジメント  
「初めての資産形成」

三井住友フィナンシャルグループ  
金融リテラシー教育の推進  
[http://www.smfg.co.jp/responsibility/issue/new\\_generation/literacy/](http://www.smfg.co.jp/responsibility/issue/new_generation/literacy/)



### 企業見学・出張授業

金融リテラシーの普及は、証券会社の重要な使命であると考えています。SMBC日興証券では、金融や経済に関する知識を深めていただくために、企業見学の受け入れや出張授業、寄付講座を実施しています。あらゆる世代に向けた金融経済教育活動を通じて、正しい資産形成・健全な資本市場の発展に貢献していきます。

### SMBC日興証券



出張授業の様子

### 金融教育アプリ「ハロまね」

三井住友カードは、金融教育の一環として、子ども向けのおこづかい帳アプリ「ハロまね～親子で学ぶ、こどものお金管理～」を無料で提供しています。おこづかい管理や仮想銀行への預金体験を通じて、保護者と子どもと一緒に「使う」「貯める」「増やす」を楽しく学べる機能がそろっています。

### 三井住友カード



「ハロまね」アプリ画面

三井住友カード  
子ども向けおこづかい帳アプリ「ハロまね」



iOS



Android

### PROMISE 金融経済教育セミナー

SMBCコンシューマーファイナンスでは、全国18カ所にあるお客様サービスプラザが主体となり、年間10万人以上にご参加いただく、「PROMISE 金融経済教育セミナー」を開催しています。セミナーでは、未来を担う学生や地域の方々がお金に関する正しい知識を習得するとともに適切な判断をしていただくため、「生活設計・家計管理」「ローン・クレジット」「金融トラブル」などをテーマにしています。

### SMBCコンシューマーファイナンス



「PROMISE 金融経済教育セミナー」の様子

### カードゲーム「エコノミカ」

三井住友アセットマネジメントは、金融経済を身近に楽しく学べる対戦型のカードゲーム「エコノミカ」の全国大会を開催しています。経済用語を駆使したバトルを通じて、子どもたちやその親世代を中心とした参加者に、経済に慣れ親しむ機会を提供しています。

### 三井住友アセットマネジメント



エコノミカSMAMカップ

## 役職員による地域清掃活動

SMBCグループ



毎年、全国各地で各社の役職員が参加する「SMBCグループ クリーンアップ」を行っています。海岸や河川敷の清掃を通じて、地域環境の美化に取り組むとともに、役職員一人ひとりが環境保全への意識を高める機会となっています。



藤前干潟(愛知県名古屋市)での清掃活動

## クレジットカードを通じた環境への貢献

セディナ



セディナでは、「ごく普通に使うだけで、地球のために寄付できる」をコンセプトにした「地球にやさしいカード」を発行しています。カードショッピングをご利用いただくと、カード会員さまのご負担なくご利用金額の0.5%が自動的に、公益財団法人緑の地球防衛基金を通じて、各団体へ寄付されます。



「地球にやさしいカード (地球温暖化を抑える)」

## ビジネススキルを活かしたボランティア活動

SMBCグループ



役職員が業務を通じて培ったスキルや経験を活かして、社会的課題の解決に取り組むNPOの支援を行う「SMBCグループ プロボノプロジェクト」を実施しています。役職員は寄付金や経費管理の事務フロー整備等を通じて、団体の認定NPO取得・維持をサポートしています。



プロボノ最終報告会

## 食を通じたコミュニティへの貢献

SMBCグループ



SMBCグループ各社では、「TABLE FOR TWO プログラム」に参加しています。このプログラムは、役職員が食堂や自動販売機でヘルシーメニューや飲料を購入すると、NPO法人「TABLE FOR TWO International」を通じて、発展途上に学校給食が届けられる仕組みです。



©TABLE FOR TWO

## 大規模災害被災地での復興支援活動

SMBCグループ



各地の被災地域において、役職員がさまざまな支援活動を実施しています。東日本大震災や熊本地震への復興支援に加え、2017年7月の北九州大雨被災地域での活動では、SMBCグループ役職員やその家族が、倒壊家屋からの貴重品・家財運び出しやゴミ分別などのボランティア活動を行いました。



北九州大雨被災地域での活動の様子

## 障がい者スポーツの支援

SMBC日興証券 SMBC信託銀行



SMBCグループ各社で、障がい者スポーツの普及・発展をサポートしています。SMBC日興証券では、ブラインドサッカーの支援や、障がい者アスリート社員による全国各地での講演会、障がい者スポーツの体験会などを行っています。SMBC信託銀行では、ゴールボールを支援しており、体験会の開催や役職員ボランティアの大会派遣を行っています。



©日本ブラインドサッカー協会



上)ブラインドサッカーの様子  
下)ゴールボール体験会の様子